

## 『鴨川市DX推進計画（案）』に係るパブリックコメント実施結果

鴨川市DX推進計画（案）を公表し、それに対する市民の皆様からのご意見を募集するパブリックコメントを実施したところ、以下のとおり貴重なご意見を頂きました。

寄せられたご意見の内容と、それに対する市の考え方等をお示しします。

### 【パブリックコメント手続実施結果】

#### 1 案件名

鴨川市DX推進計画（案）

#### 2 募集期間

令和6年2月15日（木）から令和6年3月15日（金）まで

#### 3 募集方法

市ホームページ、企画政策課、市政情報コーナーにおいて「鴨川市DX推進計画（案）」を公表し、意見を募集しました。

#### 4 意見の提出件数 2件（意見提出者2人）

#### 5 意見の概要と市の考え方

##### （1） 3 取組事項 1件（1人）

意見の概要	市の考え方
<p>（1）フロントヤード改革の推進</p> <p>昨今公民館利用の減少から公民館廃止の方向で話が進んでおりますが、鴨川市では高齢化も進み、移動に伴う衣食住の不安が絶えません。</p> <p>そんな中、公民館の活用について考えたところ、スマート公民館なる物があることが分かり、これは是非スマート公民館の活用を考えて頂きたいと思います。</p> <p>公共交通機関が減っている移動の大変なこの鴨川市は、あまり移動する事のない地域の公民館を最大限活用することが市役所業務一極集中も防げ、更に非対面の対応も組み合わせられると思います。</p> <p>鴨川市に必要な「スマート公民館」とは</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・スマートロックを採用した無人運用とし、登</li></ul>	<p>本計画は、DX（デジタルトランスフォーメーション）に係る本市の施策の全体方針としての位置付けを明らかにするために策定するものですが、取組事項の一つであるフロントヤード改革の推進に関し、ご提案いただいた内容は、今後、具体的な施設整備や施策展開を図る上で、参考とさせていただきます。</p>

録住民が自由に館内施設を利用することが可能。

- ・予約システムの採用で、働く人や忙しい人にとって時間に縛られず、公民館を使用することが可能。
- ・施設使用は無料ではなく有償で運用すべき。
- ・小型で最新の会議システムを備え、50人程度の会議室があれば、各種セミナー、勉強会、オンラインミーティング、パブリックビューイング、いろいろ利活用がこれから考えられる。
- ・オンライン試験会場等も視野に入れて考えてみては。
- ・マルチスペースや調理場、イベント直売所等、市民の憩いの場で、市の情報発信や要望などをデジタルツールで送受信する。
- ・料理教室、地場で魅力ある産業の創出の起点となる施設。
- ・50台程度の駐車場の確保で、災害時には避難スペースとして、イベントでは会場として活用。
- ・スマート公民館予約システムを活用して、24時間の自動販売機、トイレ利用、車中泊利用を管理する。
- ・コンビニ証明書発行システムを設置し、サービス展開する。
- ・食品の備蓄、災害時避難拠点、防災無線設備、災害対策本部として活用する。
- ・360度WEBカメラ等を設置し、通常時は観光的な使用、災害時には災害確認用などに切り替えて使用する。
- ・個室テレワーク場所が確保できれば、遠い職員の一時的職場としての機能や、個室ワーケーションの有償提供が考えられる。
- ・内容によってデジタル人材の育成を職員のみならず、一般にも有償として同時に受けさせることも検討できる。
- ・駐車場を次世代交通手段としても活用し、センサーやIoTを活用しAIでの運用診断や予約状況、使用状況をビッグデータ化する。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・減少する地域の移動手段や新しい交通手段の開発の提案としてデータを蓄積のうえ活用する。</li> <li>・分散していた備蓄倉庫や管理もデジタルがあれば集中させて持続可能な状況を生み出す。そこに人がいなければ施設は老朽化してしまう。</li> <li>・使いにくい、どうやったら使っていいのか分からない公民館を、全世代が活用可能な公民館が今必要だと思います。</li> <li>・施設の規模は大きすぎず、お金のかかる建物ではなくて、立てやすく壊しやすいけど防寒・防音、地域の人が修繕可能な建物が良い。</li> <li>・公民館こそデジタルの改革を求めます。</li> </ul>	
---	--

(2) その他 1件 (1人)

意見の概要	市の考え方
<p>DX というとペーパーレスにするという固定概念がありますが、必ずしもそうではありません。手段にとらわれると、かえって仕事が増える事もよくあるからです。</p> <p>むしろ、今ある業務を可視化して、より効率の良いやり方に整理することです。</p> <p>というのも、DXの本質は「仕事が円滑に、効率よく進むこと」なんです。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の施策展開を図る上で、参考とさせていただきます。</p>